

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所 森吉山ダム管理支所
〒018-4512 秋田県北秋田市根森田字姫ヶ岱31 TEL:0186-60-7231 FAX:0186-60-7232
<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/>

2014 森吉四季美湖 紅葉ウォーキングまつりが開催されました！

森吉山ダム水源地域ビジョン実行委員会主催による紅葉ウォーキングまつりが10月19日(日)に開催されました。

快晴のもとに行われたウォーキングは、旧森吉スキー場跡地からダム広報館までの12kmコースと四季美館からダム広報館までの7kmコースに分かれ、総勢50名ほどの参加がありました。

秋の森吉を贅沢に感じられるウォーキングとなり、1人もリタイアすることなく、全員完歩することができました。

その他ダム探検隊や地元の美味しい食材を使った屋台の出店、ステージでは森吉中学校吹奏楽部などの演奏が披露され会場を盛り上げていました。総参加者数 約970名となり、大盛況のうちに幕を閉じました。



地元ボランティアも多数参加

【秋の森吉四季美湖周辺 美化活動】

10月11日(土) 紅葉ウォーキングまつりに先駆け、森吉四季美湖を守る会主催の周辺美化活動が行われました。今回はウォーキング時に一般のお客様が通行する、トンネルからダム広報館までの区域を重点的に清掃し、見晴らしの良いウォーキングコースが整備されました。ボランティアで参加した市内の男性は、眺めが良くなったので、よそ見をして事故を起こさないでほしいと話していました。

【10月10日 森吉山ダムでジャンプをして調査！】

森吉山ダムは岩石や土で作られているロックフィルダムです。その堤体の締め具合を調査するため、弘前大学大学院の片岡准教授と埼玉大学大学院の茂木准教授らが森吉山ダムを訪れました。

今回の調査では、堤体の上に6個のセンサーを設置し、そのセンサー間を伝わる振動の速さを調べていました。センサーを設置して、機器の設定が終わると数十メートル離れた場所で、ジャンプをしたり掛矢で衝撃をあたえ続けます。するとセンサーが堤体の振動を感知し、情報が記録されていきます。詳細は後ほど検証してみないと分からないが、森吉山ダムは完成したばかりということもあり、状態は悪くないとのことでした。

片岡准教授は、東北各地のロックフィルダムを調査されており、調査結果をダムの安全などに活かしていきたいと話していました。



センサー設置

ダムの上でジャンプ!!



赤い印の部分が、ジャンプの衝撃が堤体を伝わり、センサーがそれぞれ反応しているところです。



【お問い合わせ先】 森吉山ダム管理支所 電話：0186-60-7231